

議案書③

第34回

通常総代会 議案書

第17期役員選任の件

日時：2023年6月13日(火) 10:30～13:00

場所：京成ホテルミラマーレ6F ローズルーム

pal*system

パルシステム千葉

■第4号議案「第17期役員選任の件」

1. 第16期(2021年6月総代会～2023年総代会)役員(理事・監事)の任期満了により、定款第19条および役員選任規約に基づき、2023年6月13日の第34回通常総代会にて、役員候補者(理事19名、監事5名)を第17期役員として選任することを提案します。

I. 理事候補者 19名 (定数 19名)

◆全体区 (8名)

石井 佐知子 (新任)	齋藤 和博 (再任)	酒井 督史 (新任)	新村 里志 (再任)
高橋 由美子 (再任)	津田 しのぶ (再任)	仲野 智美 (再任)	山本 香美 (再任)

◆全体区 有識者(3名)

石山 明子 (再任)	井上 郷 (再任)	富田 千鶴 (再任)
------------	-----------	------------

◆地方区 (8名)

石井 眞紀 (新任)	北 きよみ (新任)	鷺沼 恵美子 (新任)	宮本 朱美 (新任)
北村 久美子 (新任)	神野 和江 (再任)	高崎 麻衣子 (新任)	中村 眞紀 (再任)

II. 監事候補者 5名 (定数 5名)

◆全体区 (5名)

猪股 千文 (新任)	加戸 祐爾 (再任)	加藤 博美 (再任)
柴崎 菊恵 (再任)	相馬 由起子 (再任)	

1. 全体区理事

8名 (定数8名)

いし い さ ち こ
石井 佐知子 (1971年生まれ) 新任 (現職：組織運営本部長)

住所：東京都葛飾区

略歴：1994年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 入協／1997年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 機関運営グループ／2007年 パルシステム千葉 人事部長／2012年 パルシステム千葉 広報室長／2013年 パルシステム千葉 広報・環境推進室長／2014年 パルシステム千葉 マネジメント推進部長／2015年 パルシステム千葉 企画・広報部長／2017年 パルシステム千葉 機関運営部長／2018年 パルシステム千葉 組織運営本部長 (現在に至る)

抱負：1994年に入協し、柏センターで3年間配送業務を担いました。その後、本部で運営、人事、広報、環境、内部統制などの部門を担い、現在に至っています。

パルシステム千葉に入協したのは、当時の理念「一人ひとりの暮らしに役立つエルコープを作ります」やビジョンに共感したからでした。この理念、ビジョンは、私の生協人生の根幹になっており、業務上の判断で迷ったときに立ち返る場所です。配送担当の時はもちろん、本部で業務にあたる現在も大切にしてきました。

今回、理事になる機会をいただきました。この理念・ビジョンの実現に向けて最大限尽力していきたいと思います。解決できない地域の課題がまだまだたくさんあります。そうした課題の解決に向け、組合員の声に真摯に向き合い、中長期的な視点をもって業務にあたっていきたいと考えています。

精一杯精進してまいりますので、どうぞよろしく願いたします。



推薦理由

配送業務を経験し、その後、組織運営、人事教育、広報、内部統制、環境等、責任者として幅広い業務経験を有しています。特にくらしトーク・トークを含めた総代会、理事会等の機関運営業務には精通しており、また生協法の知識も深く様々な運営改善を事務方の責任者としてリードしてこられました。また、女性職員が働きやすい職場環境、管理監督職育成にも積極的に取り組まれてきました。理念やビジョンに対する深い想いと理解、職責への責任感、実直な仕事ぶりは役員からの信頼感も厚いものがあります。これまでの経験及び実績を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

さいとう かずひろ

齋藤 和博 (1968 年生まれ) 再任 (現職：業務執行理事)

住所：東京都八王子市

略歴：1989 年 タマ消費生活協同組合(現パルシステム東京)入協／1996 年 東京マイコープ立川センター長／1999 年 マイコープエクスプレス(現株式会社パルライン) 取締役／2012 年 株式会社パルライン生活物流本部長／2015 年 株式会社パルライン常務取締役／2019 年 パルシステム千葉 理事(事業担当)(現在に至る)



抱負：パルシステム千葉の業務執行理事として、無店舗事業、店舗事業、夕食宅配、独自商品の業務を4年間努めてまいりました。2019 年 10 月に発生しました大型台風 19 号、2020 年 1 月から拡大しました新型コロナウイルス感染症などの災害に対する対応は生協入協以来初めて経験する出来事でしたが、組織全体の協力によって、何とか組合員の皆さんに商品の供給を行う事ができました。

また、職員と一丸となり、毎年約 2 万人以上の新規組合員の仲間づくりに尽力しました。これからもパルシステムの安全・安心な商品を理解していただける運動、活動を積極的に行い、事業における業務品質の向上や人材育成に尽力し、組合員の皆さんの期待に応えられる仕事をやっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

センター長を経験し、その後(株)パルライン※で生活物流本部長、取締役事業本部長、常務取締役等を歴任され、パルシステムの物流業務全般に精通されています。それまでの経験を生かし、2019 年(第 15 期)からパルシステム千葉の業務執行理事として事業本部を管掌されてきました。無店舗事業、店舗事業、夕食宅配事業を統括し営業や供給等、センター業務運営の改善、業務品質向上に尽力されてきました。また、市川センターの移転と松戸センターの新設、店舗事業における移動販売の収益改善にも努めてられました。これまでの経験及び実績を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

※(株)パルライン：パルシステム生活協同組合連合会の 100%出資の子会社です。パルシステムグループの一員として組合員の食卓に直結する生協物流全般を担っています。

さかい ただし

酒井 督史 (1972 年生まれ) 新任 (現職：管理本部長)

住所：千葉県八千代市

略歴：1998 年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉)入協／2004 年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉)無店舗事業部スタッフ／2005 年 4 生協事業部(パルシステム東京)出向／2005 年 12 月 生活協同組合エル(現パルシステム千葉)千葉センター長／2006 年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉)稲毛センター長／2008 年 パルシステム千葉 市川センター長／2010 年 パルシステム千葉 無店舗事業部次席スタッフ／2010 年 10 月 パルシステム千葉 無店舗事業部課長／2014 年 パルシステム千葉 新規事業推進部課長／2016 年 パルシステム千葉 サービス事業部部長／2018 年 パルシステム千葉 事業本部部長、株式会社パルライン取締役／2019 年 パルシステム千葉 事業本部副本部長／2020 年 パルシステム千葉 管理本部長(現在に至る)



抱負：配送担当者として入協して、無店舗事業部 18 年、家事支援事業部 4 年、管理本部 3 年の経験をしてきました。

私自身の転機となったのは、家事支援事業を一から上げた時です。少子高齢化が進む中、組合員から必要とされている事業をどうにか軌道に乗せることを考え運営してきたことです。その中で地区社協や地域包括支援センターの方々との出会い、たくさんの地域での困りごとを目の当たりにしました。私たちのやるべきくらし課題はまだたくさんあり、どうにかしなければいけないと強く実感しました。

その後、管理本部に着任し、組合員に良い組織と思っていただけるようになるには職員がやりがいを持ち、いきいき仕事をしなければいけないと思い、今日まで職場内での課題を見つけ、たくさんの職員の意見を聞きながら改善を進めてきました。

これまでの 25 年間の経験を最大限生かし、事業経営と人材育成や雇用定着に責任を持って役割を果たしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

配送業務をはじめ、センター長、事業部長、家事支援事業部長、事業本部副本部長等を経験され、その後、管理本部長として現在に至っています。現場業務、本部業務を含め幅広い経験を積んでられました。新規事業として開始した家事支援事業では立ち上げから携わり責任者として事業を軌道に乗せるため尽力されました。管理本部では新型コロナウイルス感染症対策、人事評価制度改革の推進にも着手されました。長い現場経験から職員との対話を大切にしたマネジメントを常に心がけており、管理本部長として公平・公正な人事評価、働きやすい職場環境整備等を積極的に推進されてきました。これまでの経験及び実績を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

しんむら さとし

新村 里志 (1964年生まれ) 再任(現職:専務理事)

住所:千葉県野田市

略歴:1984年 柏・市民生活協同組合入協/2000年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 理事、総務部長/2002年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 理事、管理本部長/2004年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 常務理事(事業担当)、パルシステム生活協同組合連合会 理事(現在に至る)/2007年 パルシステム千葉 常務理事、共同店舗支援本部長/2008年 パルシステム千葉 常務理事(共同店舗事業担当兼管理担当)、パルシステム東京 理事/2011年 パルシステム千葉 常務理事(事業担当)/2013年 パルシステム共済生活協同組合連合会 理事(現在に至る)/2016年 パルグリーンファーム株式会社 代表取締役(現在に至る)/2017年 パルシステム千葉 専務理事(現在に至る)/2021年 株式会社パルシステム・イースト取締役(現在に至る)



抱負: コロナ禍が続く中、ロシア政府によるウクライナ軍事侵攻の長期化、歴史的な円安等の影響により、食料品をはじめとする生活必需品、また電気・ガス等のエネルギー価格が大きく上昇し物価高が続いています。2022年度はこうした状況の中で暮らしを取り巻く環境は大変厳しい年であったと認識しています。改めて原油・原材料等、海外依存率が高いことのリスク、そして自給率・自給力の問題は大きな課題として突きつけられました。

今年2月に開催したくらしトーク・トーク～方針検討会～では、取り巻く情勢認識、食の安全・安心の取り組み、商品やサービス、環境・エネルギー問題、平和活動、また様々な活動企画の充実や職員の育成、雇用定着等も含め事業や活動全般について積極的な意見・要望をいただきました。引き続き、組合員の声をしっかり受け止めて事業や活動の充実につなげていきます。

人口減少、少子高齢化、高齢単身世帯の増加等、日本の社会構造そのものが大きく変化しているなかで、暮らしを取り巻く課題も多様化、複雑化し難しい時代になっています。

改めて「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」というパルシステム千葉の理念とその実現に向けた取り組みは社会的に見ても重要になっていると考えます。

第17期も健全な事業経営執行に努め、2030年ビジョン、政策、方針を組合員とともにしっかり前に進め、組合員から負託された職責を全力で果たしていくことを約束します。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

豊富な職員経験、理事経験を有し、管理部門、事業部門、パルシステム連合会、パルシステム共済連、パルシステム東京、千葉県生協連等の理事を歴任してこられました。第14期から専務理事を3期経験され、業務執行責任者として広範な業務経験に裏づけられたマネジメント力、健全経営への強い想いを持って、組合員の声を大切にした事業・活動を推進されてきました。第16期では事業成長と損益構造改革をリードし、サービス付高齢者向け住宅の開所、松戸センターの新設等、将来に向けた投資にも尽力されました。また人材育成、労働環境及び処遇改善、障がい者雇用、ユニバーサル就労も積極的に広げてこられました。これまでの経験及び実績を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

たかはし ゆみこ

高橋 由美子 (1969年生まれ) 再任(現職:くらしの視点を持つ理事・運営担当)

住所:千葉県千葉市

略歴:2004年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 加入/2007年 パルシステム千葉 サポーター(機関紙パル・カフェ、地域行事)/2013年 パルシステム千葉 理事(現在に至る)/2019年 特定非営利活動法人NPO支援センターちば 理事、株式会社パル・ミート取締役/2021年 株式会社パルシステム・イースト取締役(現在に至る)



抱負: 私たちのくらしを取り巻く環境は、新型コロナウイルス、ロシア政府によるウクライナ軍事侵攻、自然災害などの大きな影響を受け、厳しさを増しています。平和であること、日々のくらしに必要な食やエネルギーを得ることが、実はとても不安定で脆い状態であることを思い知らされました。

当たり前の日常が大きく揺らぎ、将来が見えず、正解のわからない時代を生きるわたしたちは、何を指針として進んで行けばよいのか。その答えは、組合員の日々のくらし、地域の中、職員が働く現場の中にあります。

物価高騰や人材不足が常態化する中、事業活動を持続可能なものにするためには、組合員のくらしや地域の課題解決につながる商品やサービスを追求するとともに、よりよい社会につながる『くらし方』を考え、行動していく活動が大切です。そして職員の『働き方』や雇用環境を改善していくことは喫緊の課題です。

また、格差や分断、孤立などの社会課題に対し、助け合いの組織である協同組合の役割もますます求められています。フードドライブや予備青果提供、人道支援や給付型奨学金へのカンパ、平和を考える企画などの活動も、多くの方々の協力により広がっています。

組合員を中心に、役職員、産直産地の生産者、協力会社、地域の連携団体と様々な取り組みを進めていますが、一人ひとりの想い、行動が尊く、希望を感じてきました。

パルシステム千葉が長い歴史の中で築いてきた『いろんなわたし』の声を大切にする組織風土は、大きな力になります。これからも皆さんとともに意見を交わし、学び合い、行動し続ける組織であるよう、組織運営に尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

2013年にパルシステム千葉の理事に就任されて以来、生産者・消費者協議会の副代表や平和・地域活動委員会の副委員長等を経験され、パルシステムグループ全体の活性化に向けて尽力されてきました。また、パルシステム千葉においても、この間、コミュニティ政策推進会議、商品・産直政策推進会議の座長等を務められ、組合員活動の活性化と地域連携、食と産直などの学習会等を積極的に推進されてきました。さらに運営担当理事として広角的な視野で理事会運営に関わってこられました。これまでの実績・経験を踏まえ、次期理事候補として推薦いたします。

津田 しのぶ (1966年生まれ) 再任 (現職：くらしの視点を持つ理事)

住所：千葉県船橋市

略歴：2003年 生活協同組合エル（現パルシステム千葉）加入／2007年 LPA※ 講座受講・活動／2017年 保育の会において保育活動／2018年 パルシステム千葉 総代／2019年 パルシステム千葉 理事（現在に至る）

※ LPA…「ライフプラン アシスタント」。保障や家計などファイナンシャルプランナーの資格をもった組合員が講師となり組合員に伝えます。

抱負：第16期任期中は、「総代会準備会議」のメンバーとして機関運営に携わりました。「なるほど！総代教室」や「くらしトーク・トーク」など、パルシステム千葉の取り組みを分かり易くお伝えし、組合員・総代の皆さんがご理解いただけるように協議してきました。



また、パルシステム連合会とパルシステム共済連の助成基金の運営委員を担当しました。評価することを通して、社会的課題に取り組む団体や、有機農業、環境保全型農業や日本型畜産に取り組む生産者などの活動を知ることができました。多くの社会的課題の解決に向けての活動や、日本の農業を守る取り組みを、ともに進めていかななくてはと思いました。

気候変動、戦争、格差など不安に思う事が多くなっています。このような時だからこそ、組合員、生産者、地域など、色々な人々につながることの大切さを実感しています。この難局を組合員の皆さんと一緒に超えていきたいと思えます。パルシステム千葉の2030年ビジョン「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」の実現に向けて尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

総代会準備会議メンバーとしてパルシステム千葉の運営への理解が深まるよう意識しながらくらしトーク・トーク等をつくりあげてこられました。また、大学生協との交流会では実行委員として企画、当日の円滑な運営と参加者相互の理解の促進、今後のあり方についても協議を重ねるなど、尽力されてきました。これまでの経験を生かし、理事候補として推薦いたします。

なかの ともみ 仲野 智美 (1960年生まれ) 再任 (現職：くらしの視点を持つ理事)

住所：千葉県千葉市

略歴：1996年 生活協同組合エル（現パルシステム千葉）加入／2014年 パルシステム千葉サポーター（商品開発）、商品を伝えるサポーター、「パル・くらす」商品モニターサポーター／2015年 パルシステム千葉 理事（現在に至る）／2019年 株式会社パルシステム電力取締役（現在に至る）／2021年 特定非営利活動法人NPO支援センターちば 理事

抱負：第16期任期中は「総代会準備会議」のメンバーとして、「くらしトーク・トーク」や「パル de おしゃべり」などを通して、総代はじめ組合員の皆さんの「声」を広く集め、事業・活動につなげていきました。コロナ禍以降、オンラインと実参加を併用した開催を実施し、一人ひとりの“わたし”の声を大切にしながら、お互いの“声”を認め合い、「パルシステム千葉の想い」につなげていくよう努めました。



昨今、先の見えない世界情勢、地球規模での環境危機など、私たちの「くらし」には不安が増すばかりです。時代の変化のスピードは速く、常に「走り続けていなければならない」感覚に陥りがちですが、ここはじっくり「本当に大切なことは何か」を考え、「地に足をつけてくらし方を考えていく」ことも必要だと思っています。こんな時こそ、「安心して日々のくらし」をおくれるよう、組合員をはじめパルシステム千葉にかかわる人々の力を結集し、パルシステム千葉の2030年ビジョンである「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」の実現にむけて推進していきましょう。

私個人としては、5期目となる今期、これまでの様々な経験を生かして「次の世代へとつないでいく」ことに注力し、理事の役割を担っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

総代会準備会議メンバーとして総代の参加感を大切にされた運営を心がけてこれ、世代を超えて様々な意見を出し合える運営を目指して改善を図るために尽力されてきました。また、パルシステム電力※の取締役としてエネルギーをめぐる厳しい事業環境の中、非常に重い責任を果たされ、当理事会の合意形成に向けても尽力されてこられました。これまでの経験を生かし、理事候補として推薦いたします。

※パルシステム電力：パルシステムグループ内で発生する商品カタログや牛乳パックなどを回収し、資源化する環境関連事業の専門会社として、2003年に設立。2016年よりパルシステムグループのめざす再生可能エネルギーの推進事業も担っています。

やまもと かすみ

山本 香美 (1973年生まれ) 再任 (現職: 暮らしの視点を持つ理事・運営担当)

住所: 千葉県千葉市

略歴: 2013年 パルシステム千葉 加入 / 2016年 パルシステム千葉 サポーター (地域行事) / 2017年 パルシステム千葉 サポーター (商品伝える)、パルシステム千葉 総代 / 2018年 パルシステム千葉 サポーター (産直) / 2019年 パルシステム千葉 理事 (現在に至る) / 株式会社パルふれあいサービス 取締役 (現在に至る)

抱負: この間、私は総代会準備会議のメンバーの一員として、より多くの組合員の皆さんに主体的に運営に参画していただけるよう、「くらしトーク・トーク」や「パル de おしゃべり」などの開催を通し、「より参加しやすく」「より分かりやすく」を求め改善と工夫を重ねてきました。また、所属する福祉・たすけあい委員会においては、今後ますます求められるインフォーマルサービスに向けた「居場所づくり」について、全国の事例を学び合いながら、パルシステムグループ内での議論を深めてきました。

パルシステム千葉では、組合員とともに考えた2030年ビジョン「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」を掲げています。このビジョンの実現には、何より、地域の中で暮らす組合員それぞれが、自分のできることで助け合いつながっていくことが大切です。そして、時代のニーズにあった学習会への参加や、社会的課題への取り組みなどを通じた組合員活動の拡がりが必要と考えています。

私自身、理事としてこの4年間、組合員の皆さんとともに本当に多くのことを学ばせていただきました。これからも多様な意見に耳を傾け、日頃の活動の中にこそ重要なヒントがあると肝に銘じ、理事会での意見形成や組合員活動の推進に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

**推薦理由**

総代会準備会議の座長として目的と課題を明確にされ、メンバーの意見を取りまとめるなど、あらゆる世代の参加を意識し一体感のある総代会を目指して取り組んでられました。また、パルシステムの福祉・たすけあい委員会のメンバーとして、居場所づくりをメインテーマとして他団体の事例を学ばれ、パルシステムグループ全体の方向性を打ち出すことに尽力されてきました。これまでの経験を生かし、理事候補として推薦いたします。

2. 全体区有識者理事

3名 (定数3名)

いしやま あきこ

石山 明子 (1965年生まれ) 再任 (現職: 有識者理事)

住所: 千葉県市原市 職業: 独立型社会福祉士

略歴: 2002年 知的障害者施設生活支援員 / 2013年~2021年 三幸福祉カレッジ介護講師 / 2016年 社会福祉士事務所 あした設立 (現在に至る) / 2017年 パルシステム千葉 有識者理事 (現在に至る) / 2018年 千葉地方検察庁刑事政策総合支援室 社会福祉アドバイザー (現在に至る)

抱負: 第14期から有識者理事として就任させていただいておりますが、その間、社会は大きく変化し続けています。どのような状況、事情、情勢があろうとも、私たちの暮らしは社会の中で続いています。人々の安全・安心な暮らしを支える機関の一つとして、パルシステムが存在することを実感しています。

これからの社会課題として、少子化・子育て問題はもとより、超高齢社会到来による高齢者の生活問題、生活困窮者に対する支援等も必要です。パルシステム千葉では介護事業や障がい者雇用、フードバンク支援等により多岐に渡る社会課題へのアプローチを図っておりますが、更に踏み込んだ、きめ細やかな支援が行えるよう私自身のこれまでの経験や福祉の視点を活用できるようにしていきたいと考えております。

厚生労働省は、誰もが役割を持てる地域共生社会の実現を謳っています。そのためにはコアとなる機関が必要であり、地域に根差した活動を継続しているパルシステムは正にその機関の一つです。そのようなパルシステム千葉の今後の運営に更に貢献できるよう精進してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

**推薦理由**

第14期から6年間、パルシステム千葉の理事 (有識者) として、ご自身における障がい者施設での勤務経験や成年後見人としての活動、独立型社会福祉士として福祉に関わる方々の教育など、理事会ではこれまで培ってきた経験を生かした福祉の視点での意見や助言をいただきました。第16期では特に介護事業について、サービス付き高齢者向け住宅の運営にあたり助言や業界の動きなどの情報提供をいただきました。今後も介護事業の運営改善や高齢者・障がい者等、福祉活動の充実に向けた意見に期待し、有識者理事候補として推薦いたします。

いのうえ あきら

井上 郷 (1957年生まれ) 再任 (現職：有識者理事)

住所：千葉県市川市 職業：税理士

略歴：1988年 税理士登録（東京税理士会京橋支部）／1991年 東京税理士会京橋支部幹事／1996年 井上郷税理士事務所開業、利根中流砂採取協同組合顧問税理士／2007年 東京税理士会京橋支部副支部長／2015年 公益財団法人中央区勤労者サービス公社監事／2017年 社会福祉法人愛光監事（現在に至る）／2019年 パルシステム千葉 有識者理事（現在に至る）



抱負：2019年に発生した新型コロナウイルス感染症も4年が経過し、やっと収束へと向かう兆しが見えてきましたが、その間にパルシステムを取り巻く環境や経済状況、世界情勢は大きく変化しました。パルシステムの事業面では無店舗事業が大きく伸びましたが、コロナの収束傾向とともに配送費用の増加、人材育成や人件費の拡充など新たな問題・課題が出てきました。更に様々な物・サービスの値上げに加え、今秋10月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入により税金だけでなく様々な費用の増加や問題が生じる事が見込まれます。

また、自身の新型コロナウイルス感染に際し、パルシステムに加入していたことが、食事・生活面で大変助かりました。共働きの子育て世代や高齢者だけでなく広く一般家庭の災害・緊急時の対応を踏まえた事業の整備と運用の重要性も認識しました。

第17期は、これまでの2期4年の理事経験と税理士という立場から、業務の中心である無店舗事業の今後の発展に向けた問題点の指摘や課題への対応・解決策、居住系介護事業の運営の安定化と赤字の縮小への助言を通し貢献できるように参画していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

第15期から4年間、パルシステム千葉の理事（有識者）として、ご自身における長年の税理士経験、専門である会計・税務面での知識、また公益財団法人や社会福祉法人等での監事経験を生かし、理事会では事業活動や政策全般において様々なご意見や助言をいただきました。第16期では特に税制制度の変更など、いち早く情報提供をいただきました。引き続き、税理士としての専門的な役割発揮に期待し、有識者理事候補として推薦いたします。

とみた ちづる

富田 千鶴 (1974年生まれ) 再任 (現職：有識者理事)

住所：千葉県松戸市 職業：弁護士

略歴：2003年 弁護士登録（東京弁護士会）／2009年 千葉県弁護士会へ弁護士名簿登録換、弁護士法人千代田オーク法律事務所柏支所長／2015年 パルシステム千葉有識者理事（現在に至る）



抱負：パルシステム千葉の事業、運動の意義への理解・共感を高めるためにもコンプライアンスの遵守は必須です。4期8年間の理事経験を踏まえ、弁護士という専門性を生かし、より信頼される組織を構築できるよう理事会に参画してまいりたいと思います。

前期では、コロナ禍・ロシア政府によるウクライナ軍事侵攻などの社会情勢の変化によりパルシステムも大きな影響を受け、理事会も難しい判断を求められる事態に直面しました。今後もそのような重大な局面において、どのようなプロセス・エビデンスをもって判断したか、組合員の皆さんへの説明・ご理解を得られているかを重視していくよう、意見を出していきたいと思っております。

また、2期目より、人事委員長（役員人事委員長）として、役員選任制の運用において、民主的かつ透明性を担保していくこと、理事の担い手を確保するため、理事の役割の理解を深めること、その広報についても積極的に議論してまいりました。

個人的にも、コロナ禍でパルシステムの無店舗事業が共働き・子育て世代の我が家の命綱でした。次世代への継承、高齢化社会を下支える世代としての視点も生かして役割を果たしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

第13期から8年間、パルシステム千葉の理事（有識者）として、法律の専門家である弁護士としての知識、経験を生かし、理事会では主に業務執行にかかわる契約行為や法的問題について、また事業活動や政策全般に関して幅広くご意見や助言をいただきました。第16期では、特に契約関係や定款・諸規程改定など法的課題を中心にご意見や助言をいただきました。また、役員人事委員会委員長として役員改選に向けた課題と施策について整理され、役員評価についても納得性の高い提案となるよう改善されてきました。引き続き、弁護士としての専門的な役割発揮に期待し、有識者理事候補として推薦いたします。

3. 地方区理事

【北部エリア】 4名(定数4名) 野田、柏、流山、我孫子、白井、印西、印旛郡、松戸、船橋、成田、香取、香取郡、銚子、匝瑳、旭、富里

石井 眞紀 (1974年生まれ) 新任

住所：千葉県柏市

略歴：2010年 パルシステム千葉 加入、パルシステムのつどいサポーター／2011年 パルシステム千葉 総代（現在に至る）

抱負：2010年の春に関西から千葉県に引っ越ししてきました。初めての関東での生活。土地勘もなく知り合いも全くない状態からでしたが、たまたま参加したイベントで見かけたパルシステム千葉に加入したのがきっかけで積極的に行事やサポーター活動に参加してきました。佐原まで車で行って産直交流に参加したこと、杉戸のセットセンターやさばの味噌煮のゆう屋さんを見学したことは印象的だったので今でもよく覚えています。パルシステムのつどいで骨盤体操の企画に参加した際には参加者同士で話が盛り上がり、その場で自主的活動グループを立ちあげて数年間サークル活動をしていました。



また地域行事サポーター活動で知り合った縁でパン作りサークルにもお誘いいただき、今でも月1～2回公民館の調理室で楽しくおしゃべりしながらパンを焼いています。このサークルは皆さんパルシステムの組合員で総代やサポーター活動も積極的にされているメンバーばかりなので会話の内容も必然的にパルシステムの話に。イベントや商品の情報交流の場にもなっています。

私にとってパルシステムは『様々な学び』と『人と人との縁』を作ってくれた存在です。組合員の皆さんに楽しい学びや縁づくりのお手伝いが出れば嬉しいなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由 パルシステム千葉の行事に参加して以来、積極的に組合員活動へ参加され、サポーター活動や総代などを担われてきました。そして人と人の出会いが広がり、サークル活動へも参加し、年代に関係なくコミュニケーションを図ることを大切にされています。そしてこれからは理事としてパルシステムの取り組みを広げたいという想いをお持ちです。以上から理事候補として適任であると捉え、推薦いたします。

北 きよみ (1960年生まれ) 新任

住所：千葉県船橋市

略歴：1999年 生活協同組合エル（現パルシステム千葉）加入／2013年 パルシステム千葉 総代（現在に至る）／2021年 パルシステム千葉 第16期地方区理事推薦委員会委員

抱負：今までは組合員として長年パルシステムを利用する立場でした。現在は自分の時間が取れるようになり、創立三十周年を迎えて多種多様な活動を展開しているパルシステム千葉の中で少しでもできることがあればお手伝いしたいと思うようになりました。



大型台風や集中豪雨、大雪などの自然災害による物流の停滞、その後の被災地での農産物への影響。また、ロシア政府によるウクライナ軍事侵攻に対する各国の制裁での水産物の輸入減少、小麦の世界的な不足。燃料の不足とその後の電気料金の値上がり。このようにつながりあうグローバルな世の中では、国内のみならず遠くの出来事でも身近な日常にどう影響するのか、しそうなのかを予測、想像し対処、対策をすることが大切です。

今までパルシステムで実践されてきたことを次につなげていくバトンになればと思っております。

また、身近な場所に子ども食堂がありますがフードバンクやシニア食堂といった食べることさえ困難な状況の方の問題やヤングケアラーなど人とのつながりの再構築などにも関心があり、生協として何かできることはないか取り組んでみたいと思っております。最後に「平和な世界」は、紛争地だけでなくグローバルな世界全体の安全・安心になることを特に次の世代に伝えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由 2013年度から総代を担われており、パルシステム千葉の取り組みや政策への理解が深く、共感をお持ちです。これまでの社会経験から海外の人々のくらしぶりに触れ、地域には様々な問題がある中、人と人がつながる社会づくりに関心を持たれ、1つの物事も様々な視点で捉えていきたいとの想いをお持ちです。以上から理事候補として適任であると捉え、推薦いたします。

さぎぬま えみこ

鷺沼 恵美子 (1965年生まれ) 新任

住所：千葉県白井市

略歴：1998年 生活協同組合エル（現パルシステム千葉）加入／2003年 パルシステム千葉 総代（現在に至る）／2022年 PLA15期生、環境サポーター、産直サポーター



抱負：25才になる長女から4人の娘、家族ぐるみでパルシステム千葉の食品から産地交流、様々な勉強会やサポーター活動にかかわらせていただけてきました。はじめは、受け身でしたが、だんだん組合員とは、ただのお客様・消費者という立場ではなく、意見を言っても良いこと、また、その組合員の声を受けとめ、実現していく場が生協（パルシステム千葉）なのだとわかってきました。さらに、生産者の方々と交流などを通し、生産者の方々の想いや努力、パルシステムのこだわりなどが伝わってきて、もっとパルシステム千葉のファンを増やしたいという気持ちが湧いてきました。

講座やサポーター活動、くらしトーク・トークでお会いする組合員の皆さんも、魅力的で様々な考えを持っていらっしゃる事がわかり、皆さんの想いなどもすくい上げ、パルシステムの運営などに少しでも反映できるお手伝いがしたいという想いも強くあります。

自分の実際の生活・子育て体験からくる実感を大切にしながら、未来につながるパルシステム千葉のために、力を出していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

環境、福祉、くらし全般に興味・関心をお持ちで、パルシステム千葉の組合員活動に積極的に参加され、総代歴も長く、パルシステム千葉の取り組みへの深い理解と共感をお持ちです。2022年度からはPLA※、環境サポーター、産直サポーター活動にも参加され、活動の幅を広げてこられました。以上から理事候補として適任であると捉え、推薦いたします。

※ PLA：パルシステム・ライフ・アシスタントの略。パルシステムの理念や商品に関する情報を把握し、くらしの視点に立て多くの組合員に商品の価値を伝える活動です。

みやもと あけみ

宮本 朱美 (1967年生まれ) 新任

住所：千葉県印旛郡

略歴：2015年 パルシステム千葉 加入／2017年 パルシステム千葉 総代・産直サポーター・センターサポーター（現在に至る）／2018年 公開確認会監査人



抱負：パルシステム千葉に加入してから約7年半、期間としては長くない方ではありますが、その間6年総代を務めさせていただき、この度、地方区理事として申し出いたしました。センターサポーター、産直サポーターに携わり、また2度の公開確認会に参加してパルシステム千葉の理念や取り組みに少しでも触れることができました。またそこに関わっておられる方々と接して、心温まる思いを何度も経験させていただきました。

更に一步踏み込んで、自身の成長と学びを深めながらくらしの視点を持つ理事としてアプローチしていきたいと考えております。食の安全・安心はもとよりパルシステム千葉の理念でもある「心豊かなくらし」「共生の社会」に誰一人取り残されることなく、それぞれが知恵を出し合いながら支え合って次世代に継承していく…そんな協同組合となれるよう努力したいと思います。私自身は特に環境保全・エネルギー問題に注目しています。人間の活動が自然と共存し、自然のサイクルに順応していける社会が広まれば良いなと思っています。環境保全を通して農福連携にも注目したいです。

微力ではございますが、パルシステム千葉を通して更により良い社会を築けるよう寄与していきたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

パルシステム千葉に加入されてから、総代、サポーター活動、公開確認会監査人※など、様々な活動に参加・参画されてきました。パルシステム千葉の理念である「心豊かなくらしと共生の社会づくり」に共感され、環境保全や農福連携などに関心を持たれ、次世代に継承していける社会づくりを大切にお考えです。以上から理事候補として適任と捉え、推薦いたします。

※公開確認会：「自分の口に入るものはまず自分の目で確かめたい」との組合員の声で始まり、消費者である組合員が産地を訪れ、農畜産物の生産方法や安全性への取り組みを直接確認するパルシステム独自のシステムです。公募した組合員やくらしの視点を持つ理事が講習を受け、公開確認会において監査人として産地の取り組みを確認します。

【南部エリア】 市川、浦安、千葉市稲毛区、千葉市花見川区、千葉市若葉区、千葉市中央区、千葉市美浜区、千葉市緑区、習志野、鎌ヶ谷、八千代、佐倉、四街道、八街、茂原、市原、袖ヶ浦、木更津、富津、君津、南房総、鴨川、館山、勝浦、安房郡鋸南町、山武、山武郡、東金、長生郡、いすみ、大網白里、夷隅郡

4名(定数4名)

きたむら くみこ
北村 久美子 (1978年生まれ) 新任

住所：千葉県千葉市

略歴：2008年 パルシステム千葉 加入／2014年～2020年 広報サポーター／2018年～2020年 パルママサポーター／2019年、2021年 商品モニター／2020年 商品伝えるサポーター／2022年 パルシステム千葉 総代（現在に至る）

抱負：私が、パルシステム千葉（以下パル千葉）の地方区理事として担いたいと思っている役割は、組合員との「橋渡し」です。

今やっとSDGsが声高に叫ばれ、子どもたちも学校で持続可能な社会について学習をしています。環境保護を考え、自然との共生を目指し、健康を守るという大きな目標に対して、いち早く前向きに取り組んできたパルシステムに共感を覚えます。ひとりひとりが持続可能な社会の実現に向けて「選択」をしてゆくことが「重要」ですが、その前に、個人として家庭として、生産者も消費者も生活を成り立たせ持続してゆくことが「必要」です。生産者にとっては組合員の買い支えが必要ですし、消費者たる組合員からは、経済的にも続けていけるような価格であることも求められ、そのバランスを取り、「橋渡し」をしているのがパル千葉であると考えています。環境に配慮した生産をおこなっている生産者であること、それら生産者に正当な対価が支払われ、事業として継続できるよう支援してゆくこと、組合員に正しく情報提供がなされていること、適正かつ組合員が利用しやすい価格で販売されていること等、たくさんの役割を担っていると感じています。

総代として、くらしトーク・トークなどに参加させていただく中で、様々な想い、ご意見を持っている組合員の方たちに触れてきました。理事の役割とは、組合員や総代の意思を踏まえた健全な運営の点検、つまりは組合員との「橋渡し」であると考えています。

これまでの社会人経験なども生かして、ぜひ理事として努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



推薦理由

パルシステム千葉に加入後、パルシステムのつどいなどの行事への参加をはじめ、様々なサポーター活動にも登録し活動されてきました。持続可能な取り組みを進めているパルシステムの政策を知り共感されるとともに、推進にあたっては様々な関係者の立場も踏まえ「橋渡し」役を担っていききたいとの想いをお持ちです。これまでの社会人経験も生かせると考えます。以上から理事候補として適任であると捉え、推薦いたします。

じんの かずえ
神野 和江 (1971年生まれ) 再任（現職：くらしの視点を持つ理事）

住所：千葉県市川市

略歴：2002年 生活協同組合エル（現パルシステム千葉）加入／2013年～2018年 パルシステム千葉 総代／2019年 パルシステム千葉 理事（現在に至る）

抱負：子どもの「食」のために加入して21年。「安全・安心・便利」な生協利用から「くらし課題」に対し立案された政策・方針に沿って活動や事業に取り組まれていることを知り、総代や理事として関りを深めてまいりました。

2019年6月にくらしの視点を持つ理事に就任し、1期目は組合員活動や地域連携を協議する会議体へ参加、また「2030年ビジョン」策定にも携わりました。2期目は産直の推進や商品づくりを協議する会議体への参加の他、独自商品を推進するための会議体にも参画してきました。

パルシステムの「産直」は、「生産者の顔が見える」関係です。有機農業や環境保全型農業、畜産水産産地の飼料自給率向上や資源循環の取り組み、資材高騰による国内の社会動向を迅速に把握し、産直産地への理解を互いに深め、学び続け、気持ちを通じ合うことを大切にしています。パルシステム千葉も交流会や学習会がありますのでぜひご参加ください。

パルシステム千葉の『心豊かなくらしと共生の社会を創ります』という理念の下に2030年ビジョンのテーマ「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」の実現に向け、組合員や地域の人たちと協働しながら周りの声に耳を傾け、くらしの課題解決に向けて、これからも事業や活動に尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



推薦理由

既に理事として2期4年の間、視野を広げるべく学習会や研修に積極的に参加され、くらしトーク・トークなどでは傾聴を心掛け、組合員との一体感を大切にされてきた方です。産地とも積極的に関わり、生産者との顔が見える関係を大切にされ、一人でも多くの組合員に産直の良さを伝えていきたいとお考えです。また食の安全学習会等、組合員のニーズを踏まえた企画を担当されてきました。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

たかさき まいこ
高崎 麻衣子 (1979年生まれ) 新任

住所：千葉県千葉市

略歴：2009年 パルシステム千葉 加入／2017年 パルシステム千葉 総代（現在に至る）／2018年 パルママサポーター／2021年 センターサポーター

抱負：私がパルシステム千葉に加入したきっかけは、結婚して夫の親から調味料などいろいろといただいて使ってみて美味しかったからです。



利用し始めの頃はまだ子どもも小さく、美味しい物を毎週配達してもらえて便利、と思っていました。しかし、パルシステムのつどいに参加してみて、パルシステムの商品へのこだわり、なるべく不要な添加物は使わない、環境への配慮、良い商品を作るために手間は惜しまないなどの努力のもと作られていることがわかり、とても感銘を受けました。それから様々なつどいに参加し、そこで知り合った方からサポーター活動や総代について話を聞いて興味を持ち、私もやってみたいと思い、総代とサポーター活動を始めました。

これまでの活動を通して、パルシステム千葉の取り組みに大変興味を持ちました。これからはこの経験を生かして組合員の皆さんの声に耳を傾け、より良いパルシステム千葉を創り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

パルシステムのつどいや産直交流企画、あそびの広場などに積極的に参加され、総代活動やサポーター活動にも参加・参画の幅を広げてこられた方です。パルシステムの取り組みが大好きで、共感を広げたいという想いをお持ちです。子どもの学校関係や地域の活動にも参加されており、幅広い視点での役割発揮が期待されます。以上から理事候補として適任であると捉え、推薦いたします。

なかむら まき
中村 真紀 (1974年生まれ) 再任 (現職：くらしの視点を持つ理事)

住所：千葉県山武市

略歴：2009年 パルシステム千葉加入／2011年「子どもと一歩の会」設立／2012年「子どもと一歩の会」を自主的活動グループ登録／2015年～2017年 パルシステム千葉 総代／2017年 サポーター（地域行事）／2019年 パルシステム千葉 理事（現在に至る）

抱負：私はパルシステムが大好きです。



くらしの視点を持つ理事としてすでに2期4年務めさせていただき、生産者や組合員の皆さん、働く方々との関わり、そして様々な活動や学びを通し、パルシステムの取り組みをもっと知ることができ、以前よりも更に好きになりました。

主にコミュニティ活動や環境関係を担当させていただいた2期目は、社会的課題解決のカギをいかに多くの方に知っていただくか、そしてどのようにともに進んでいくか、なかなか思うようにいかないこともありますが、知恵と笑顔で主体的に取り組みさせていただいています。また、コミュニティ活動助成基金運営委員会委員長を務めさせていただいたことで、地域の課題を解決されている方々を応援させていただくことができ、微力ながら一助になれたことは自分自身の励みにもなりました。

3期目となる来期は、さらに強い意志と責任感を持って、学びを深め、新しい出会いも大切にし、引き続き楽しく、私たちパルシステムの真面目な取り組みをさらに多くの方に受け取っていただき、役職員一丸となって組合員や地域の皆さんとともに「心豊かな暮らしと共生の社会づくり」に貢献させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

推薦理由

既に理事として2期4年の間、組合員の声を大切にされた運営を心がけてきた方です。新環境・エネルギー政策の策定や環境の学習会、機関誌 Palnote (パルノート) でのリユースびんの特集、また、子ども食堂ネットワークへの食材の寄贈なども担当されてきました。組合員活動は明るく、楽しくをモットーに取り組まれています。以上から、引き続き理事としての役割発揮に期待し推薦いたします。

4. 全体区監事

5名(定数5名)

いのまた ちふみ 猪股 千文 (1958年生まれ) 新任

住所: 千葉県我孫子市

略歴: 2000年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 松戸・鎌ヶ谷行政区委員 / 2001年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 我孫子行政区委員 / 2005年 生活協同組合エル(現パルシステム千葉) 印西センター地域コーディネーター / 2007年 パルシステム千葉 サポーター / 2009年 パルシステム千葉 理事 / 2019年 パルシステム千葉 理事退任

抱負: 「パルシステム千葉」の前身である「生活協同組合エル」の活動と出会ったのは20数年前、娘が幼稚園の頃でした。そこから行政区委員、定時職員、サポーター、理事と、様々な立場で生協の活動に携わってきました。

初めは友人に誘われてただ楽しく活動していましたが、活動の中で様々な事を学び、自分の身近な「暮らし課題」は社会や世界につながっているということに気付かされました。その課題を組合員が共有し、組合員が課題解決のための行動をする生協という組織に私自身大きな魅力を感じ、その魅力にできるだけ多くの組合員に触れてもらいたいとの思いで活動してきました。

今、時代の転換点といわれる程の激しい変化が訪れている社会にあって、今後も「パルシステム千葉」が組合員の暮らしに寄り添い、人と人がつながれる場であり続けることは組合員の暮らしにとってかけがえのないことであると考えます。

これまでの経験を活かし、監事という立場で、組合員の組織である「パルシステム千葉」がこれからも健全に力強く発展してけるよう、役割を果たしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



推薦理由

パルシステム千葉の組合員活動に長く関わり、理事としては10年の経験があり、事業活動全般に詳しい人材です。理事就任中には評価委員会※の評価委員長も努め、事業経営、組織運営、人材育成に対して様々な視点の意見をまとめ、組織全体のレベルアップに尽力いただきました。組合員の視点を大切にされた業務監査の充実を期待し、次期監事候補として推薦いたします。

※評価委員会: 理事会の諮問機関として2003年度～2016年度まで設置。評価指標をもとにパルシステム千葉の事業・活動、地域社会への貢献などを評価し、理事会にフィードバックする役割を担っていました。

かど ゆうじ 加戸 祐爾 (1957年生まれ) 再任(現職: 監事)

住所: 千葉県習志野市

略歴: 1982年 千葉県庁 主として企画関連・商工行政関連部署を歴任(旧通商産業省出向、米国東京銀行シカゴ支店、千葉県シンガポール事務所、JICA ブータン事務所) / 2007年 株式会社ジィシー企画(管理総務部長: 人事・労務管理・ISO担当)、現シニアアドバイザー / 2008年 日本機械輸出組合 / 2010年 在欧日系ビジネス協議会(ブリュッセル: 経済産業省系外郭団体) / 2013年 東京大学大学院新領域創成科学研究科・フューチャーセンター推進機構(特任研究員) / 2019年 パルシステム千葉 監事(現在に至る)

抱負: 2019年の監事就任以来、大型台風、震災、干ばつ、大寒波等の異常気象に加え、感染症の長引く蔓延、戦火の突発に伴う世界的なエネルギー不足、激しい物価高等々、これまでの想定を覆す事象が次々と発生しており、人々の暮らし、企業活動等の対応・舵取りも大変難しい状況に陥っており、生協の事業や運動も多大な影響を被っています。

これらを背景に、これまでの国・県の行政、中小企業の管理運営、外国政府等との交渉、海外ビジネス活動等、様々な地域・分野での経験・知見や培った人的ネットワークを活用するとともに、前代未聞の事象発生も見据えた視点を加えた監査業務を通じて、事業活動の適切性・健全性の確保、持続的な発展、企業統治(コーポレート・ガバナンス)の確立を目指してまいりたいと思っております。

今後ますます発展が期待されるパルシステム千葉において、食・農・環境・福祉等の分野で組合員の声に応える事業展開と多様性のある持続可能なコミュニティづくりに貢献できるよう、微力ながら尽くしてまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



推薦理由

千葉県庁や経済産業省(出向)等の行政関係や企業等、生協外の組織における幅広い経験があります。県庁では企画関連や商工行政関連部署での業務を通じて千葉県総合計画策定や長野冬季オリンピックの公式ボランティア通訳、また海外勤務(シカゴ・シンガポール・ブータン・ブリュッセルなど)の経験もあります。これまでの豊富な経験と有識者監事としての2期4年の実績を踏まえ、次期監事候補として推薦いたします。

かとう ひろよし

加藤 博美 (1954 年生まれ) 再任 (現職: 常勤監事)

住所: 千葉県印西市

略歴: 1986 年 柏市民生活協同組合 (現パルシステム千葉) 入協 / 2002 年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 組合員活動グループマネージャー / 2008 年 パルシステム千葉 コンプライアンス環境推進室室長 / 2011 年 パルシステム生活協同組合連合会 コンプライアンス室室長 (出向) / 2015 年 定年退職、パルシステム千葉マネジメント推進室 (嘱託職員) / 2019 年 パルシステム千葉常勤監事 (現在に至る)

抱負: 2019 年に常勤監事に就任し、適切な監事監査の遂行に向けて、代表理事や監事間の情報連携の強化、そして客観的な視点での監査の実施などをもって、当組合の基本的な監査活動の整備と運営に取り組んでまいりました。また、新型コロナウイルス感染症の対策や発生するリスクの対応についても、他の監事と連携し点検をいたしました。

今後におきましては、当組合の健全な発展への寄与に向け、整備した当組合の監事監査の運営をベースに、各監事が所持される知見 (有識者監事の専門的視点の知見、組合員出身監事の組合員視点の知見) をより生かした監事監査とガバナンス強化につながる監査活動のさらなる充実と発展に取り組んでまいりたいと考えます。どうぞよろしく願いいたします。

**推薦理由**

2019 年度において常勤監事に就任し、監査の環境の整備及び組合内の情報の収集などに積極的に努め、内部統制システムの構築・運用状況等の日常的な監査活動にあたるとともに、監事会の運営を担い、職務の遂行上知り得た情報を他の監事と共有のうえ、監査環境の整備や有効な監事監査の向上に努められています。2 期 4 年の実績を踏まえ、引き続き、次期監事候補として推薦いたします。

しばさき きくえ

柴崎 菊恵 (1974 年生まれ) 再任 (現職: 監事)

住所: 東京都文京区

略歴: 2003 年 検事任官 (2005 年まで) / 2005 年 弁護士登録 (東京弁護士会) / 2013 年 東京双葉法律事務所開設 / 2014 年 学校法人明星学苑評議員 (現在に至る) / 2017 年 学校法人明星学苑理事 (現在に至る) / 2021 年 パルシステム千葉監事 (現在に至る)

抱負: 2021 年に監事に就任いたしました。理事会への出席、監事会での意見交換・情報共有、契約書等の重要書類の閲覧、理事・部門長へのヒヤリングなどにより監査を行ってまいりました。弁護士資格を有する監事として、特に、パルシステム千葉の事業活動が適法に行われているか、定款・法規に接触する可能性が見受けられないかという点を注力して確認してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大時には多くの制約を受けましたが、一方で生活様式や価値観の変化等に伴い、在宅勤務、キャッシュレス決済などが普及していきました。また、近年、SDGs が社会全体の課題として取り組まれています。パルシステム千葉が新たな変化に対応しながらも、組合員の皆さんに安全・安心な食材をお届けするとともに、人と人とのつながり、支え合う地域づくりに積極的に取り組む組織で在り続けるため、引き続き監査してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

**推薦理由**

弁護士資格を所持する有識者監事として、当組合の監事体制の独立性及び中立性を高めることのできる人材です。監査に必要な情報の入手に心がけ、他の監事と協力して監査の環境の整備に努め、客観的な監査意見の表明につなげていただいています。有識者監事として 1 期 2 年の実績を踏まえ、次期監事候補として推薦いたします。

そうま ゆきこ
相馬 由起子 (1956年生まれ) 再任 (現職: 監事)

住所: 千葉県印西市

略歴: 1998年 生活協同組合エル (現パルシステム千葉) 理事 / 2008年 パルシステム千葉 理事退任 だいすきちばみどりのネットワーク事務局 / 2015年 パルシステム千葉 監事 (現在に至る) / 2016年 生活困窮者自立支援相談員 (現在に至る) / 2022年 社会福祉士国家資格取得・2023年 精神保健福祉士国家資格取得



抱負: 生協の組合員としての立場、理事の経験、地域活動、生活困窮者自立支援相談員の視点を加味しながら監査活動に従事してまいりました。コロナ禍の中、パルシステム千葉が組合員活動においても、オンライン化をいち早く取り入れるなどの対応をしてきたことは評価されることだと思います。ただそうは言っても、孤独・孤立の時代に「人が人を支える」ことが、このコロナ禍で一層難しくなりました。私たちが住み続けたい地域でつながる事の意味や大切さが、ますます重要になってきています。その中で地域の一員としての生協の役割が期待されています。パルシステム千葉における地域づくりの活動や事業に期待しながら、組合員の視点を持って事業活動全般を対象とした監査活動に取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

推薦理由

パルシステム千葉の理事 10年の経験があり、事業活動全般に詳しい人材です。理事退任後は「だいすきちばみどりのネットワーク」※の事務局や、男女共同参画、環境・里山保全活動等、幅広い分野で活躍されてきました。現在でも、生活困窮者自立支援相談員として貧困問題に取り組みられるとともに、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を取得するなど知識の向上にも励まれています。これまでの経験と監事として4期8年の実績を踏まえ、次期監事候補として推薦いたします。

※だいすきちばみどりのネットワーク: 県内産地の生産者とともに地域環境型モデルの事業化を推進し、生産者や消費者の連携・交流などをすすめました (2013年まで設置)。

補足資料

1. 役員の役割について

役員候補者名簿を作成するにあたり、役員の区分ごとの選定は以下の考え方に基づいて行いました。

(1) 全体区理事は生協運営全体の観点から選定し、以下の役割を担います。

- ① 理事 (運営担当) は、くらしの視点を持ち、業務執行を監督するとともに、理事長を補佐して、機関運営に関する役割を担います。
- ② 理事 (業務執行) は、総代会で承認された方針に基づき、生協の業務を執行する役割を担います。
- ③ 理事 (有識者) は、法律、会計、福祉などの専門性を有し、政策立案に当たり専門性を活かした助言を行います。

(2) 地方区理事は理事会において定める区域ごとに、くらしの視点を持ち、業務執行を監督する役割を担います。

(3) 全ての理事は、生協法や定款・諸規程を遵守します。理事として重要事項を理事会で意思決定し、管理・監督する役割を担い、組合員からの付託に応えます。

(4) 監事は定款第35条に定める職務と権限において、理事の職務の執行状況を監査し、財産の状況を調査する役割を担います。

役員候補者名簿に掲載された方々は、以上の考え方について、その条件を十分満たすと判断しました。

補足資料

2. 選任の経過 (定数・諸規程に基づき進めました)

(1) 2023年1月理事会及び3月理事会にて、第17期役員定数及び選任区を下記の通り決定しました。

- ① 全体区理事 11人
- ② 地方区理事 8人 (北部エリア4人、南部エリア4人)
- ③ 監事 (全体区) 5人

(2) 地方区理事の選任の経過

- ① 役員選任規約第6条に基づき、地方区理事推薦委員会について以下の通り委員を決定しました。

(ア) 総代からの委員は、2023年1月9日から20日の期間に公募をしたところ6人の応募があり、2023年1月26日付で理事長が指名しました。

(イ) 理事会からの推薦委員2人は2023年1月に開催した第8回理事会にて選任しました。

(ウ) 理事経験者からの推薦委員2人は2023年1月26日付で理事長が指名しました。

(エ) 地方区理事推薦委員会メンバー

総 代： 飯岡 三枝子さん、清水 啓子さん、助川 純子さん、三ツ橋 淑子さん、
両角 純子さん、山下 佳奈さん

理事経験者： 川井 美佐代さん、本田 由美子さん

理 事： 高橋 由美子、山本 香美

- ② 2023年2月6日から2月13日の期間に地方区理事の申出について公募したところ、北部エリアより4人、南部エリアより3人の申出がありました。
- ③ 3月8日開催の臨時理事会において、地方区理事推薦委員会に提案する地方区理事候補者1人を決定しました。
- ④ 地方区理事推薦委員会を3月16日、3月23日、3月30日、4月13日の4回開催し、候補者について、定款、規約、及び地方区理事推薦委員会運営規則に基づき選考を行い、地方区理事候補者8人を決定し、理事長へ報告しました。
- ⑤ 4月19日開催の役員人事委員会にて、地方区理事推薦委員会の報告を受けた地方区理事候補者案を決定しました。
- ⑥ ⑤を受けて、理事長は2023年4月理事会にて総代会に付議する地方区理事候補8人を提案し、決定しました。

(3) 全体区理事及び監事の選任の経過

- ① 役員選任規約第5条に基づき、2021年6月に開催した第1回理事会にて、役員人事委員会の委員として理事5人を選任しました。
- ② 2023年4月19日に開催した役員人事委員会にて、全体区理事候補及び監事候補を決定し、理事長へ報告しました。
- ③ ②の報告を受けて、理事長は監事候補についてすみやかに特定監事に通知しました。特定監事はこの通知を受けて4月26日開催の監事会にて審議し、過半数の同意を得たので、理事長に通知しました。
- ④ 役員人事委員会の報告及び特定監事からの通知を受けて、理事長は4月26日開催の理事会にて総代会に付議する全体区理事候補11人及び監事候補5人を決定しました。

以上



生活協同組合 パルシステム千葉

千葉県船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21 (4階)
TEL 047(420)2600 FAX 047(420)2400
<http://www.palsystem-chiba.coop/>

